

森田知美様、阿部由美子様

18日(火)は貴重な時間を共有させていただいて、ありがとうございました。

嶋田先生から「日韓すくすく子ども教室」とお聞きしたとき、どんなことをするのかなと思ってお話を伺ったら、「はらぺこあおむし」の、それもペープサートを韓国の方たちがされるということで、個人的な興味からぜひと参加をお願いしました。

日本語を習い始めて5か月のお母さんと子どもたちが、日本語でのパフォーマンスを日本の人たちに見せたいという思いで、どんなに一生懸命に準備をされたのだろうという思いでいっぱいになりました。私自身、ペープサートで劇をした経験があるので、準備の大変さも実感でき、お母様の李さんがセウンちゃん、カウンちゃんと一緒に熱心に準備をしていらっしゃる様子が目に浮かんできました。「うどん屋さん」でも、うどんの一本一本まですべてが手作りでしたね。「かしこまりました」「少々お待ちください」「2400円でございます」など、お店での決まった表現の他に、「もりもり元気が出ます」「力、でてきたね～～！」など、表現が自然で驚きました。このような機会を通して覚えた日本語はとてもインパクトが強くて、頭だけではなくて、心にしっかりと残るのだろうなと思いました。

日本の子どもたちの頑張りもすごかったですね。お話を考えた戸田ゆいかちゃんは2年生なんですね。お話を作っていく中で、「一つ、咳払いをして……」「上の空」など、効果的な言葉が使われていて、それにも驚きましたが、そのお話を聞きながら絵を描いていったかほちゃんとの連携のすごさにも心から感動しました。大変な作業を、でもそれを楽しくやり取りしながら進めている子供さんたちの姿を想像して、時間があつたら、みんなに「どのくらい時間がかかったの?」「どんなところが大変だったの?」などいろいろお聞きしたい気持ちでした。

このように家族ぐるみで、小さいときからお互いを思って触れ合うことができるのは本当にいいですね。今、関係がちょっと気になる状況の両国なので、特にこのイベントの持つ力を思い、この教室がこれからも無理のない形で楽しく続いて行くといいなと思いました。

今回は参加させていただいて本当にありがとうございました。

2020年8月20日(木)

森 節子